



第26回の全国創作こけし美術展が、市民会館で開かれました。創作こけしは、昭和20年代半ばに群馬県内を中心として誕生した近代こけしのうち、主に作家の一品作として制作された作品で、渋川市を



▶協力隊大野さんの指導で絵付け

はじめとした県内各地で育ててきました。美術展では、木目を生かしながら、彫り込み・焼き込みなどの技術を駆使し、個性と創造性を発揮して制作された作品に魅了されました。

渋川市には、活躍中の気鋭の作家がたくさんいます。渋川市は、創作こけしの日本の中心です。そして、海外での人気もあり、渋川のこけしが世界中に広がっています。

昨年、常設の展示場所があるという声を受けて、渋川駅前プラザ2階に「創作こけしギャラリー」を開設しました。著名な作家の一品作が見られます。世界に一つしかない常設ギャラリーに、ぜひ、一度足を運んでみてください。

また、技術の習得・継承を目指して、地域おこし協力隊の青年も創作こけしづくりの修行に励んでいます。将来が楽しみです。

私も、白地のこけしの絵付けに挑戦。絵柄はコロナ撃退の願いを込めて、「アマビエ」にしました。アマビエは、海中から光を輝かせて疫病を予言したと伝えられる日本の妖怪です。

上手にできませんでしたが、「市民の守り神になりますように」との願いを込めて…。